

■青葉区版 No.705平成20年9月18日(木)号

かながわ力  
大賞2008

## あおば学校支援ネットが特別賞

学校と地域の架け橋として評価受ける

「教育」をキーワードに、県内で青少年育成事業を行っている団体を表彰する「かながわ力大賞2008」で、区内で活動する「あおば学校支援ネットワーク」(竹本靖代表)が今号人物風土記が準大賞にあたる特別賞を受賞した。同大賞は今年で2回目の開催で、区内からの受賞は今回が初めて。



受賞した同ネットワークのメンバーら

同ネットワークは、区内の小学校と教育活動を支援する地域ボランティアをつなぐコーディネーター団体として平成17年に発足。学校のニーズに応じた授業・行事支援や人材紹介に加え、ボランティアの養成・スキルアップ講座などを定期的に開催している。

【次ページに続く】

外 面 ト ッ プ き  
続

## 多彩な支援事業を展開

「新入生クラス支援」「土曜塾」など

運営に携わるメンバーは現在約20人で、民生委員や元教員、自治会長などさまざまな。担当者が各小学校と連絡を取り、必要に応じてボランティアらとともにさまざまな支援プログラムを実施するというのが基本的な流れとなっている。

受賞を励みに

さらなる充実目指す

同ネットワークが今回特別賞を受賞した

「かながわ力大賞」は、(財)日本青年会議所関東地区

神奈川ブロック協議会の主催。まち

づくりを盛り上げる市民団体を応援

すると同時に、団体同士のつながりを

強める目的で昨年

から実施されている。

今年「教育」



美しが丘東小で行われた「土曜塾」の様子(一昨年)

をテーマに募集が行われ、県内から21団体が応募書類及びプレゼンテーション審査を経て、大賞1団体、特別賞2団体が今月7日に表彰を受けた。

められて嬉しいですが、まだ不十分な所もあるので、これを励みに今後も頑張りたい」と受賞の感想を話した。また、同時に県内で活動する他団体の活動事例を知るいい機会になったように、「今後の活動に生かすことが出来れば」と竹本代表。

ボランティア参加希望など、詳細の問い合わせは同ネットワーク☎070-6974-0184へ。

# 報酬は「子どもたちの笑顔」

○：「実は元々代表がい学校とつながりがあったこと、周りのお母さんたちとない組織だったんですよ。とから代表に就任して今年つながりができるから」。

にこやかな笑顔でそう切りで4年目。「娘が通う学校そんな思いで始まった学校出した。娘の通っていた学のこと自分の生活で一番との結びつきは、今や横浜校でPTAの役員を務め、身近な問題に感じていたの市のPTA連絡協議会副会

# 人物風土記

題字は  
中田宏横浜市長



●かながわ力大賞2008で特別賞を受賞した「あおば学校支援ネットワーク」代表

竹本 靖代 さん

奈良在住 41歳

長も務めるほどに強くなり、「娘なりに応援してくれている。最近娘の部活動で機会が減ってしまったが、家族で旅行やスノーボードに出掛けることも多いの。面白く、やりがいの多い活動。日々の活動がひと段落すると、「今日からボランティアさん来ないんですよ」と残念がる教師がいれば、「児童の成長を今後も見守りたい」と話すボランティアの姿も。児童も含めて、「3者をつなげてみんなに喜ばれるのが一番の励みになっていきます」。代表のそんな思いは、留めない。「どこの学校でもあるのだから。」「この学校でも、いつでも気軽に『こんにちは』と訪れることができます。そんな地域と学校の関係が築けたらと思います」。

○：代表を務める凛とした姿の裏側で、家では2児の母親。帰りが遅いときは料理好きな中1の娘が夕飯を作ってくれることもあったことを願いたい。